

D I AM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ ＜米ドルコース＞

追加型投信／海外／債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主として円建ての外国投資信託への投資を通じて、米ドル建ての新興国ソブリン債に実質的な投資を行い、信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行いました。

ここに、運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2024年10月8日～2024年10月29日

第146期	償還日：2024年10月29日	
償還日 (2024年10月29日)	償還価額	8,285.12円
	純資産総額	28百万円
第146期	騰落率	△0.2%
	分配金合計	0円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

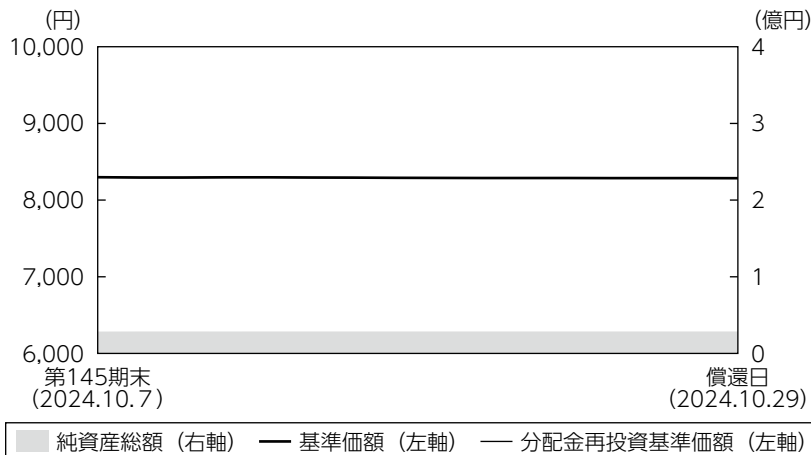
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <https://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

当作成期中は、償還対応のため、基準価額の変動は限定的となりましたが、信託報酬などの影響で若干の下落となりました。

設定来では、新興国債券市場は、リーマンショック後の世界的な景気回復により安定的に上昇しました。その後、トランプ米大統領の第一期就任後の米中貿易摩擦や新型コロナウイルスの世界的な感染拡大などにより、一時的に軟調となった局面もありましたが、主要国の金融財政政策のサポートなどもあり、上昇幅が拡大したことは、基準価額のプラス要因となりました。また、為替が米ドル高円安となったことも基準価額のプラス要因となりました。当ファンドの基準価額は設定来で74.7%上昇しました(分配金再投資ベース、設定来の分配金7,380円)。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
ケイマン エマージングソブリン ファンド クラス (USD)	△0.1%
D I AMマネーマザーファンド	0.0%

- (注1) ケイマン エマージングソブリン ファンド クラス (USD) の騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。
- (注2) 組入ファンドの騰落率は、当ファンドが保有していた期間(ケイマン エマージングソブリン ファンド クラス (USD) は2024年10月22日、D I AMマネーマザーファンドは2024年10月21日まで)の騰落率です。

1 万口当たりの費用明細

項目	第146期		項目の概要
	(2024年10月8日 ～2024年10月29日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	6円	0.069%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8,290円です。
(投信会社)	(2)	(0.028)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(3)	(0.040)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(0)	(0.002)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
合計	6	0.069	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

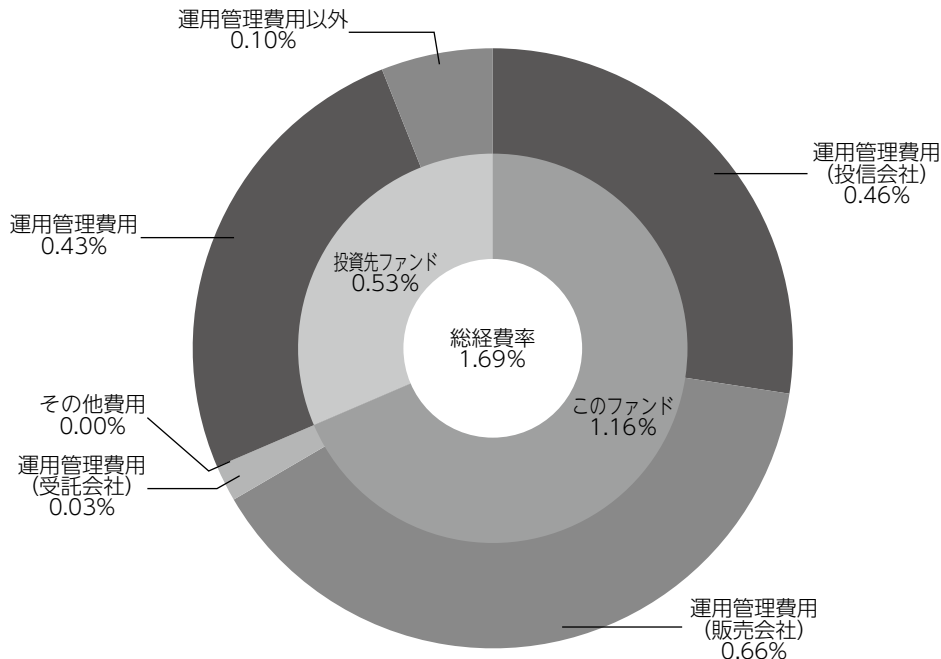
(注3) 比率欄は「1 万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.69%です。



総経費率 (①+②+③)	1.69%
①このファンドの費用の比率	1.16%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.43%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.10%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

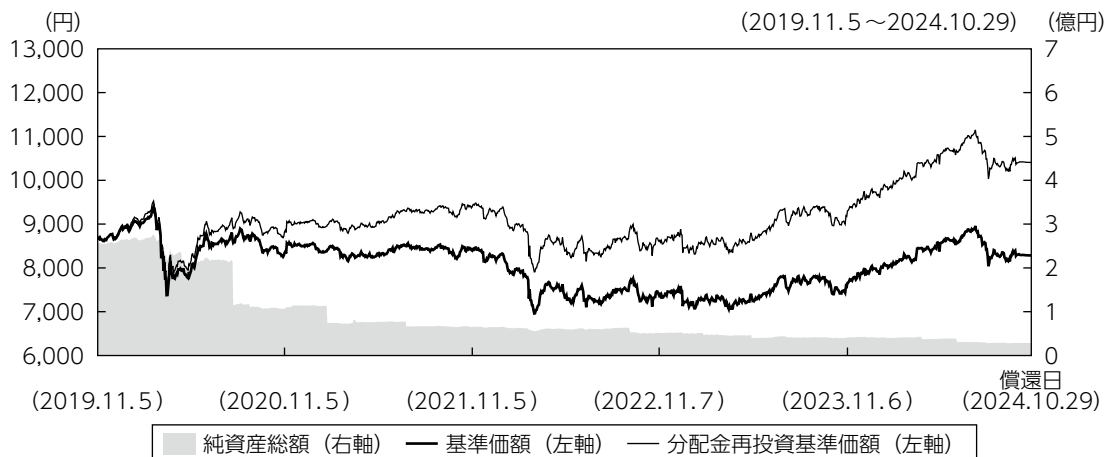
(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2019年11月5日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2019年11月5日 期首	2020年11月5日 決算日	2021年11月5日 決算日	2022年11月7日 決算日	2023年11月6日 決算日	2024年10月29日 償還日
基準価額 (分配落) (円)	8,672	8,340	8,392	7,371	7,655	(償還価額) 8,285.12
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	480	480	315	300	275
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	1.7	6.5	△8.5	8.1	11.9
純資産総額 (百万円)	254	107	65	51	41	28

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

■ 設定来の投資環境

新興国債券市場では、2012年は世界的な金融緩和とそれに続く景気回復により、上昇を継続しました。2013年～2014年は、バーナンキ F R B（米連邦準備理事会）議長が、金融緩和の縮小を示唆したことから、上昇幅を縮小する局面もありました。

2015年は、原油価格の大幅下落により、一部産油国への信用懸念が高まる局面もありましたが、新興国経済が全般的に堅調に成長したことから、上昇幅を拡大しました。2016年はトランプ大統領が就任し、中国との貿易摩擦が強まり、一時的に上昇幅を縮小する局面もありましたが、世界経済が好調に推移したことから、再び上昇しました。2020年1月に新型コロナウイルスの世界的な感染拡大や都市封鎖により、新興国債券市場も大幅に上昇幅を縮小しましたが、主要国が大規模な金融緩和や財政政策を実施したことが下支えとなり、更にワクチン開発に成功したことから、再び上昇幅を拡大しました。2022年に入り、ロシアがウクライナに軍事侵攻を開始したことや F R B が金融引き締めに転じたことから、世界景気の先行きの不透明感が高まり、大幅に上昇幅を縮小しました。2023年に米景気が堅調に推移し、大幅な景気後退が回避されるとの楽観論が高まったことや F R B の利下げ期待感が高まったことから、上昇幅を拡大し、2024年もリスク性資産全般が堅調に推移したことから、新興国債券市場も設定来で上昇し、償還日を迎えました。

米ドル／円相場は、設定来で米ドル高円安となりました。前半は、日銀が大規模な金融緩和政策を開始し、米ドルは対円で上昇しました。後半は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大後、世界的な景気回復により、米国のインフレが高進し、F R B が金融引き締め政策を進める一方、日銀が緩和的な政策を継続したことから、上昇幅を拡大しました。

国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは0.1%程度で始まりしました。2013年4月に日銀による大規模な「量的・質的金融緩和政策」が導入され同利回りは低下傾向となりました。2016年1月にはマイナス金利政策が導入されたことにより、同金利は一段と低下しマイナス圏で推移することになりましたが、2024年3月にマイナス金利政策が解除されたことを受けて、その後は概ねプラス圏での推移となりました。

■ 設定来のポートフォリオについて

● 当ファンド

ケイマン エマージング ソブリン ファンド クラス（U S D）の組入比率は原則として高位を維持し、D I A Mマネーマザーファンドへの投資も行いました。

● ケイマン エマージング ソブリン ファンド クラス（U S D）

設定来、米ドル建の新興国の国債を中心にポートフォリオを構成し、新興国債券の高水準の利子収入の獲得と長期的な信託財産の成長を図りました。加えて国別配分・デューレーション[※]配分によってベンチマークを上回る運用を図りました。

※金利変動に対する債券価格の変動性。

● D I A Mマネーマザーファンド

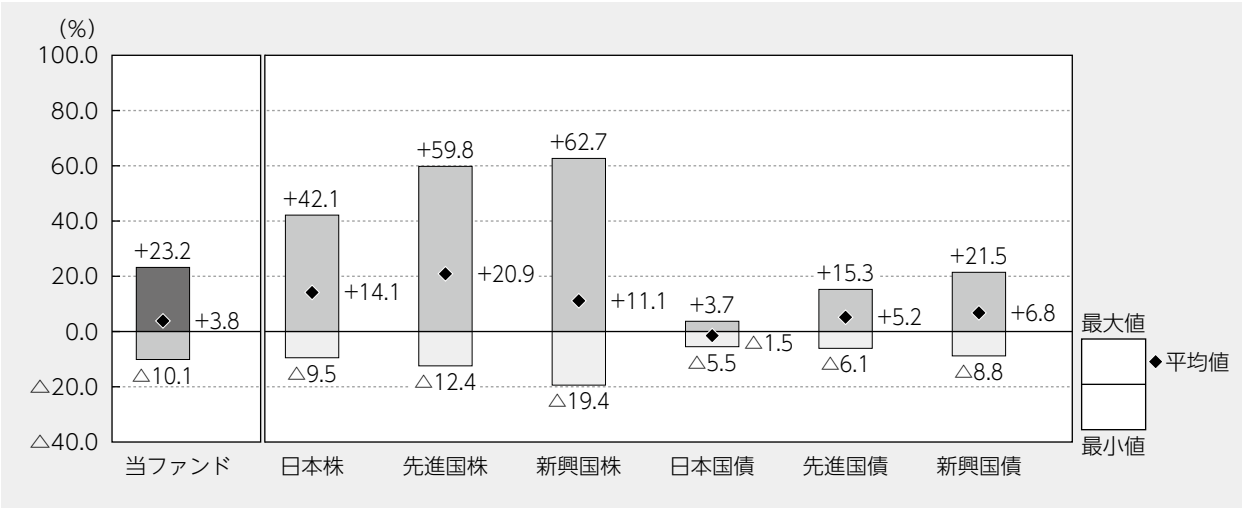
残存期間の短い国債、政府保証債、地方債などで運用を行いました。

このたび償還を迎えるにあたりまして、当ファンドへのご愛顧に心より感謝申し上げますとともに、今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券
信 託 期 間	2012年7月27日から2024年10月29日までです。
運 用 方 針	信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。
主要投資対象	主として円建ての外国投資信託である「ケイマン エマージング ソブリン ファンド クラス（U S D）」の投資信託証券へ投資を行います。また、証券投資信託である「D I AMマネーマザーファンド」受益証券への投資も行います。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。
運 用 方 法	主として円建ての外国投資信託への投資を通じて、米ドル建ての新興国ソブリン債（国債および政府機関債等 ^(*) ）に実質的な投資を行います。外国投資信託への投資比率は、原則として高位を保ちますが、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびに当ファンドの資金動向等を勘案し決定します。 （*）各国政府および政府関係機関が発行する債券であるソブリン債、または政府が出資している企業や政府保証が付いた債券である準ソブリン債を含みます。
分 配 方 針	決算日（原則として毎月5日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の利子配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。原則として利子配当等収益等を中心に分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。また、毎年1月および7月の決算時には、基準価額水準を勘案し、前記分配相当額に委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2019年10月～2024年9月

- (注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- (注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
- (注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものととして計算しています。

*各資産クラスの指数
 日本株……東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
 先進国株…MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
 新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
 日本国債…NOMURA-BPI国債
 先進国債…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
 新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）
 （注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

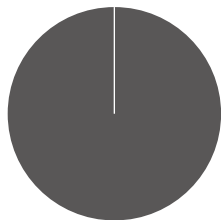
※各指数については後掲の＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2024年10月29日現在）

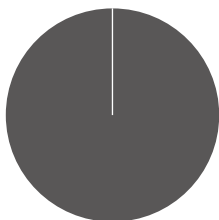
当ファンドに組入れておりました有価証券は作成中に全て売却し、また親投資信託受益証券は作成中に全て解約いたしました。

◆資産別配分



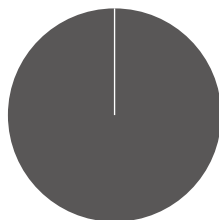
その他
100.0%

◆国別配分



その他
100.0%

◆通貨別配分



その他
100.0%

（注1）比率は償還時における純資産総額に対する割合です。
（注2）現金等はその他として表示しています。

純資産等

項目	償還時
	2024年10月29日
純資産総額	28,599,083円
受益権総口数	34,518,613口
1万口当たり償還価額	8,285.12円

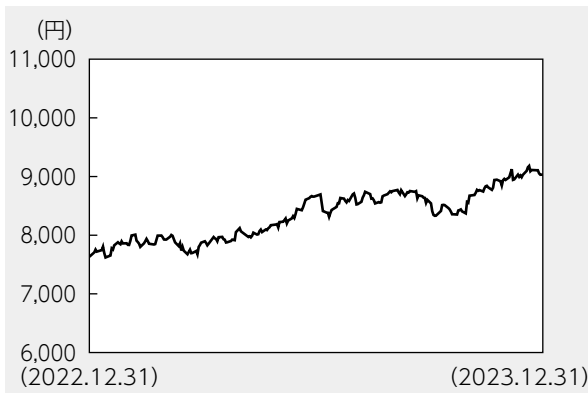
（注）当作成期間中における追加設定元本額は84,884円、同解約元本額は355円です。

組入ファンドの概要

※償還時における組入ファンドはありません。

【ケイマン エマージング ソブリン ファンド クラス (USD)】 (計算期間 2023年1月1日～2023年12月31日)

◆基準価額の推移



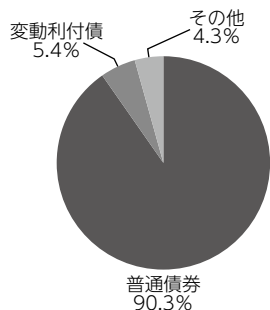
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
ARGENTINA (REPUBLIC OF) BDS STP 20-9/7/30	アメリカ・ドル	3.3%
QATAR (GOVT OF) BDS 4.4% 20-16/4/50	アメリカ・ドル	2.9
MEXICO (UNITED MEXICAN STATES) BDS 4.6% 15-23/1/46	アメリカ・ドル	2.6
TURKEY (REPUBLIC OF) BDS 6.125% 18-24/10/28	アメリカ・ドル	2.5
BRAZIL (FED. REPUBLIC OF) BDS 3.875% 20-12/6/30	アメリカ・ドル	2.3
ABU DHABI GOVT INTL BOND BDS 1.7% 20-2/3/31	アメリカ・ドル	2.1
DOMINICAN REPUBLIC BDS 5.3% 21-21/1/41	アメリカ・ドル	2.0
OMAN (SULTANATE OF) BDS 6.25% 21-25/1/31	アメリカ・ドル	2.0
QATAR PETROLEUM BDS 3.125% 21-12/7/41	アメリカ・ドル	1.9
CHILE (REPUBLIC OF) BDS 3.1% 21-7/5/41	アメリカ・ドル	1.9
組入銘柄数	107銘柄	

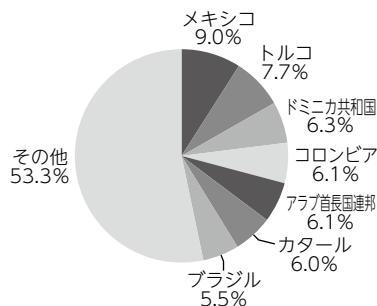
◆1口当たりの費用明細

費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

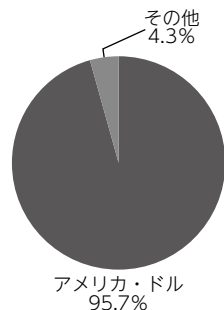
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移はケイマン エマージング ソブリン ファンド クラス (USD) の計算期間 (決算日が休日の場合は前営業日まで) のものです。また、分配金を再投資したものととしてアセットマネジメントOneが作成したものです。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、ケイマン エマージング ソブリン ファンドの決算日 (決算日が休日の場合は前営業日) 現在の状況を表示しております。

(注3) 比率はケイマン エマージング ソブリン ファンドの純資産総額に対する組入有価証券評価額の割合です。

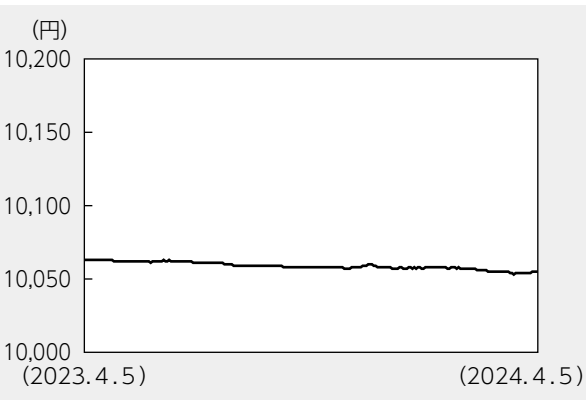
(注4) 現金等はその他として表示しています。

(注5) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注6) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、管理事務代行会社であるMizuho Trust & Banking (Luxembourg) S.A.のデータを基にアセットマネジメントOneが作成したものです。組入全銘柄や費用の総額に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) に記載されています。

【D I AMマネーマザーファンド】（計算期間 2023年4月6日～2024年4月5日）

◆基準価額の推移



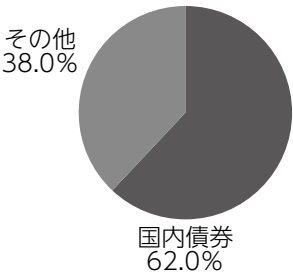
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
4 4 0 回 利付国庫債券（2年）	日本・円	20.7%
4 4 1 回 利付国庫債券（2年）	日本・円	20.7
4 4 6 回 利付国庫債券（2年）	日本・円	20.7
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
組入銘柄数	3 銘柄	

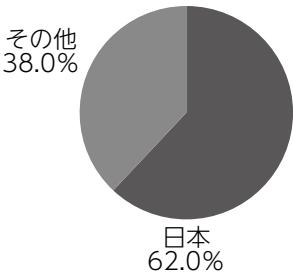
◆1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

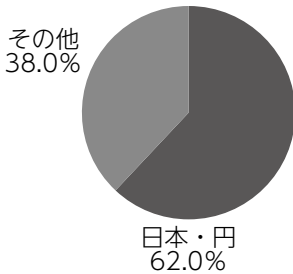
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。
(注2) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注4) 現金等はその他として表示しています。
(注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社ＪＰＸ総研または株式会社ＪＰＸ総研の関連会社（以下「ＪＰＸ」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はＪＰＸが有しています。
- 「ＭＳＣＩコクサイ・インデックス」は、ＭＳＣＩ Ｉｎｃ．が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はＭＳＣＩ Ｉｎｃ．に帰属します。また、ＭＳＣＩ Ｉｎｃ．は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス」は、ＭＳＣＩ Ｉｎｃ．が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はＭＳＣＩ Ｉｎｃ．に帰属します。また、ＭＳＣＩ Ｉｎｃ．は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本）」は、ＦＴＳＥ Fixed Income ＬＬＣにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はＦＴＳＥ Fixed Income ＬＬＣの知的財産であり、指数に関するすべての権利はＦＴＳＥ Fixed Income ＬＬＣが有しています。
- 「ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ディバースファイド」は、Ｊ．Ｐ．モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はＪ．Ｐ．モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

